

2021年8月26日（木）・27日（金）

日本社会心理学会第62回大会 自主企画WS

Dark Triad/Tetradと問題行動を再考する——社会的関係性の
視点から——

ダークな人の嫉妬はパートナー暴力の
トリガーになるか？

喜入 暁

大阪経済法科大学

s.kiire0518@gmail.com

- サイコパシーは一般的にIPVと正の関連
- ナルシシズムは一般的にIPVと関連しない
- マキャベリアニズムとIPVの関連は嫉妬に調整される。
 - 独占的嫉妬が高い場合， マキャベリが高いほどIPV
 - 不安性嫉妬が低い場合， マキャベリが高いほどIPV
 - 独占性嫉妬， 不安性嫉妬はいずれも社会的に不適応なアウトカムをもたらす可能性のあるもの（後述）
- 調整効果に対する性別の調整効果は示されなかった。

パートナー暴力 (Intimate Partner Violence: IPV)

- さまざまなパートナー暴力リスクファクター¹
 - Dark Triadはこれらを包含すると考えられる。

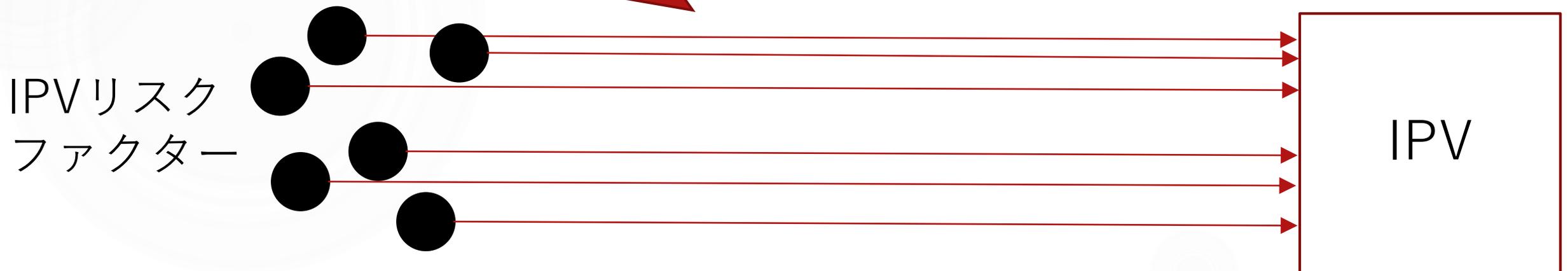
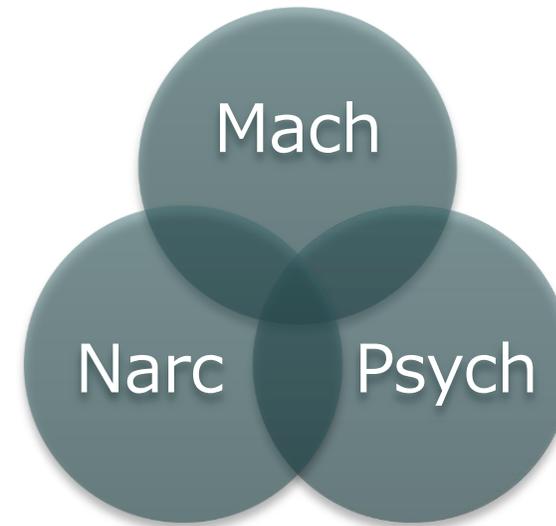
カテゴリ	例
メンタルヘルス	うつ, 不安
攻撃的思考/認知	交際関係での暴力受容
若い時の暴力	ケンカ, 全般的な反社会行動
薬物使用	アルコール, マリファナ
危険を伴う性行動	8年生で性経験あり, セックスパートナー多数
恋愛/友人関係の質が悪い	敵意的なカップル関係, 反社会的友人との関与
家族の質が悪い	両親の対立, 子どもの頃の身体的虐待
個人の属性	子供の性別, 人種
暴力的なメディア	-

Dark Triad研究

カテゴリ	例	Dark Triad研究
メンタルヘルス	うつ, 不安	Egan et al., 2014; Jonason et al., 2015; Muris et al., 2017
攻撃的思考/認知	交際関係での暴力受容	Jonason et al., 2015; Jones & Neria, 2015; Paulhus, 2014; Webster et al., 2016
若い時の暴力	ケンカ, 全般的な反社会行動	Azizli et al., 2016; Jonason, Baughman, et al., 2015
薬物使用	アルコール, マリファナ	Azizli et al., 2016; Jonason, Baughman, et al., 2015
危険を伴う性行動	8年生で性経験あり, セックスパートナー多数	Jonason et al., 2009; Jonason et al., 2011; Jonason et al., 2012
恋愛/友人関係の質が悪い	敵意的なカップル関係, 反社会的友人との関与	Jonason et al., 2009; Jonason et al., 2011; Jonason et al., 2012
家族の質が悪い	両親の対立, 幼少期の身体的虐待	Jonason et al., 2013
個人の属性	子供の性別, 人種	Book et al., 2015
暴力的なメディア	-	Book et al., 2016; Paulhus, 2014

パートナー暴力 (Intimate Partner Violence: IPV)

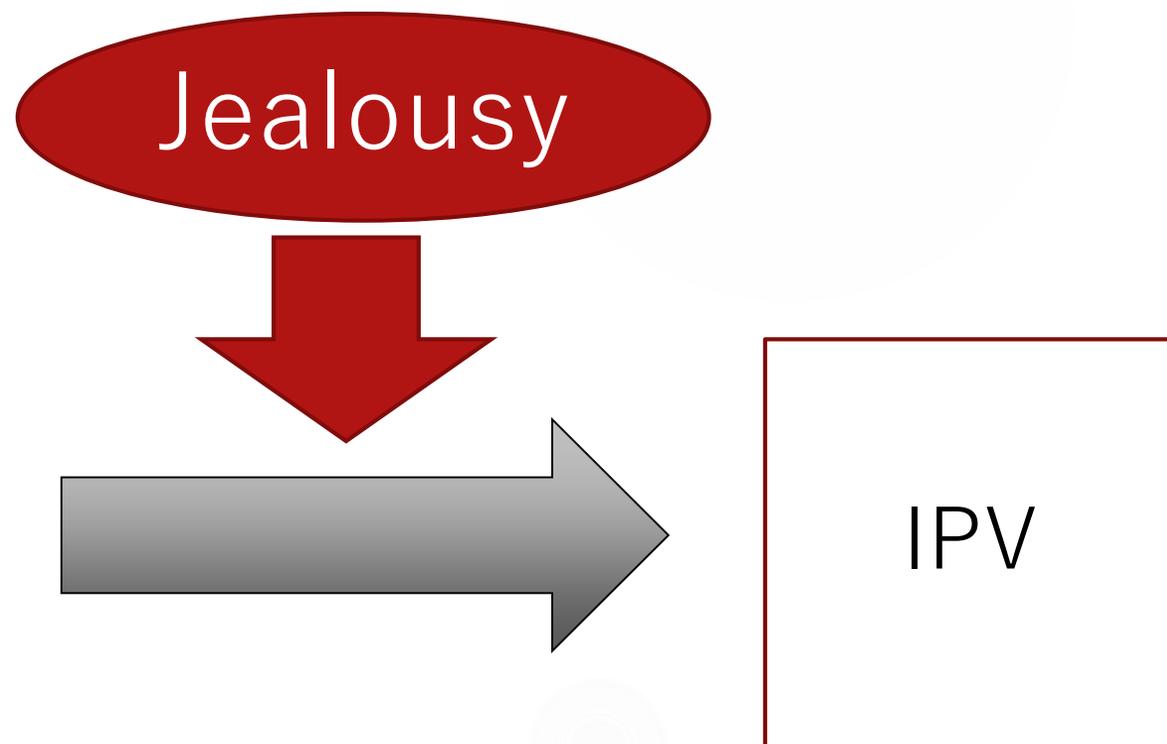
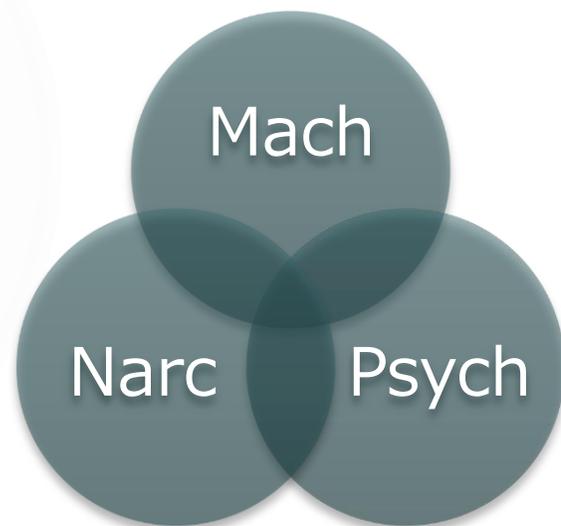
- IPVリスクファクターを包含する個人特性としてDark Triadが想定される。
- Dark TriadもIPVの個人特性としてのリスクファクター^{2, 3, 4}



パートナー暴力 (Intimate Partner Violence: IPV)

6

- 静的 (個人特性) なIPV
リスクファクターとしての
Dark Triad
- トリガーとなる嫉妬の誘
発も促進?
- 実際の暴力のトリガー
として嫉妬感情
(jealousy) ⁵



IPVとパートナー関係維持行動

- 進化的に、パートナー関係維持は重要⁶
 - 生殖資源の確保
 - 破局したら、また一からパートナー探し
 - 自分の子以外への投資を避けるために見張っておく
 - 物理的資源・協力の確保
 - 長期的な協力関係によって子どもを育てよう！
 - 継続的に資源供給や外敵からの保護をしてほしい

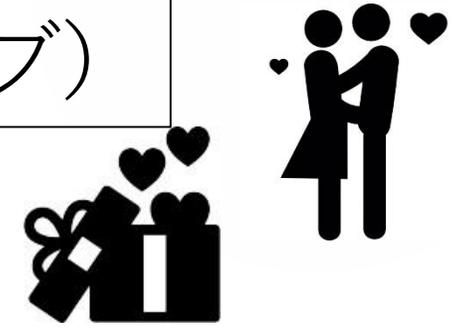
IPVとパートナー関係維持行動

- パートナー関係維持行動をポジ/ネガ観点で類型⁷
 - パートナー暴力はコストを負わせる系の最も重篤な形⁸

コストを負わせる系
(ネガティブ)



利益を与える系
(ポジティブ)



- ・ パートナーの監視
 - ・ パートナーへの否定的関わり
 - ・ ライバルへの否定的関わり
- e.g., 束縛, 脅迫, ライバルへの攻撃

- ・ 公への所有のサイン
 - ・ パートナーへの肯定的関わり
- e.g., プレゼント, コミットメント

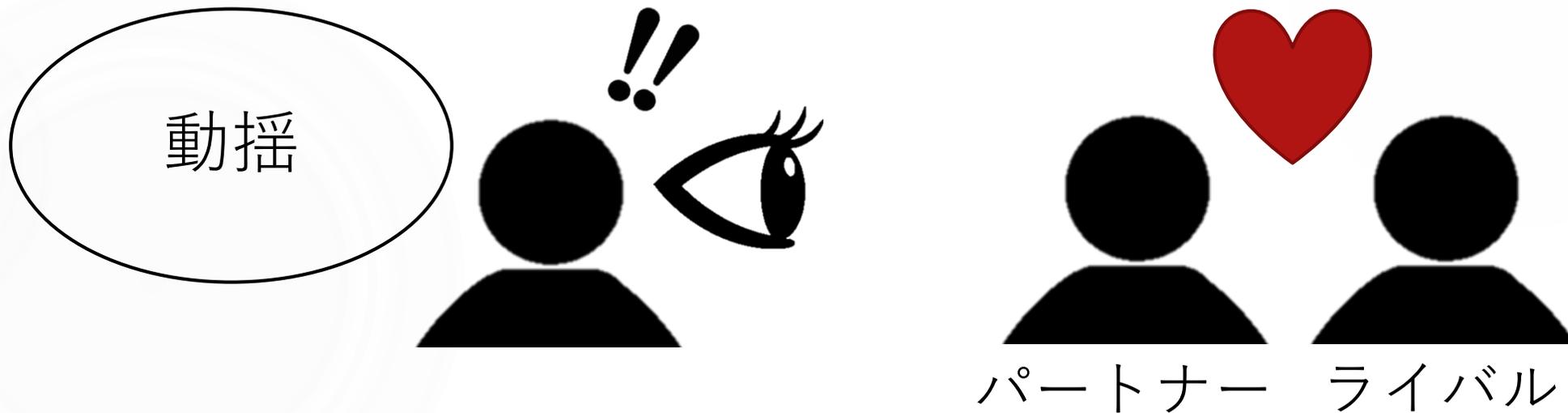
嫉妬 (jealousy) の役割

- ネガティブな方略を促進するが、ポジティブな方略も促進する⁹。
 - → 必ずしもIPVを促進するわけではない
- どのような嫉妬がIPVに結びつくのか？
 - 進化に基づく嫉妬の多次元性を考慮した嫉妬概念に着目¹⁰
 - 反応性 (reactive), 独占性 (possessive), 不安性 (anxious)
 - 関係崩壊回避メカニズムとして合理的反応の側面 (反応性)
 - 架空のライバルの存在に対する反応の側面 (独占性・不安性)

嫉妬 (jealousy) の多次元性

10

- 反応性嫉妬 (reactive)
 - 実際の関係脅威に対する反応

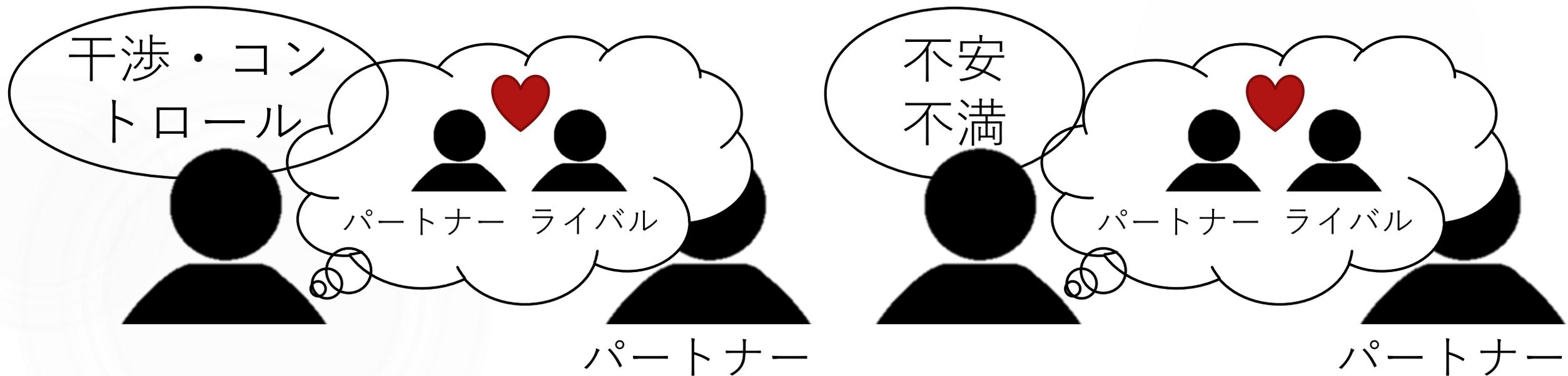


- パートナー関係維持&崩壊回避のためには合理的な反応

嫉妬 (jealousy) の多次元性

11

- 独占性嫉妬 (possessive)
- 不安性嫉妬 (anxious)
- いずれも、想像上のライバルに誘発される嫉妬

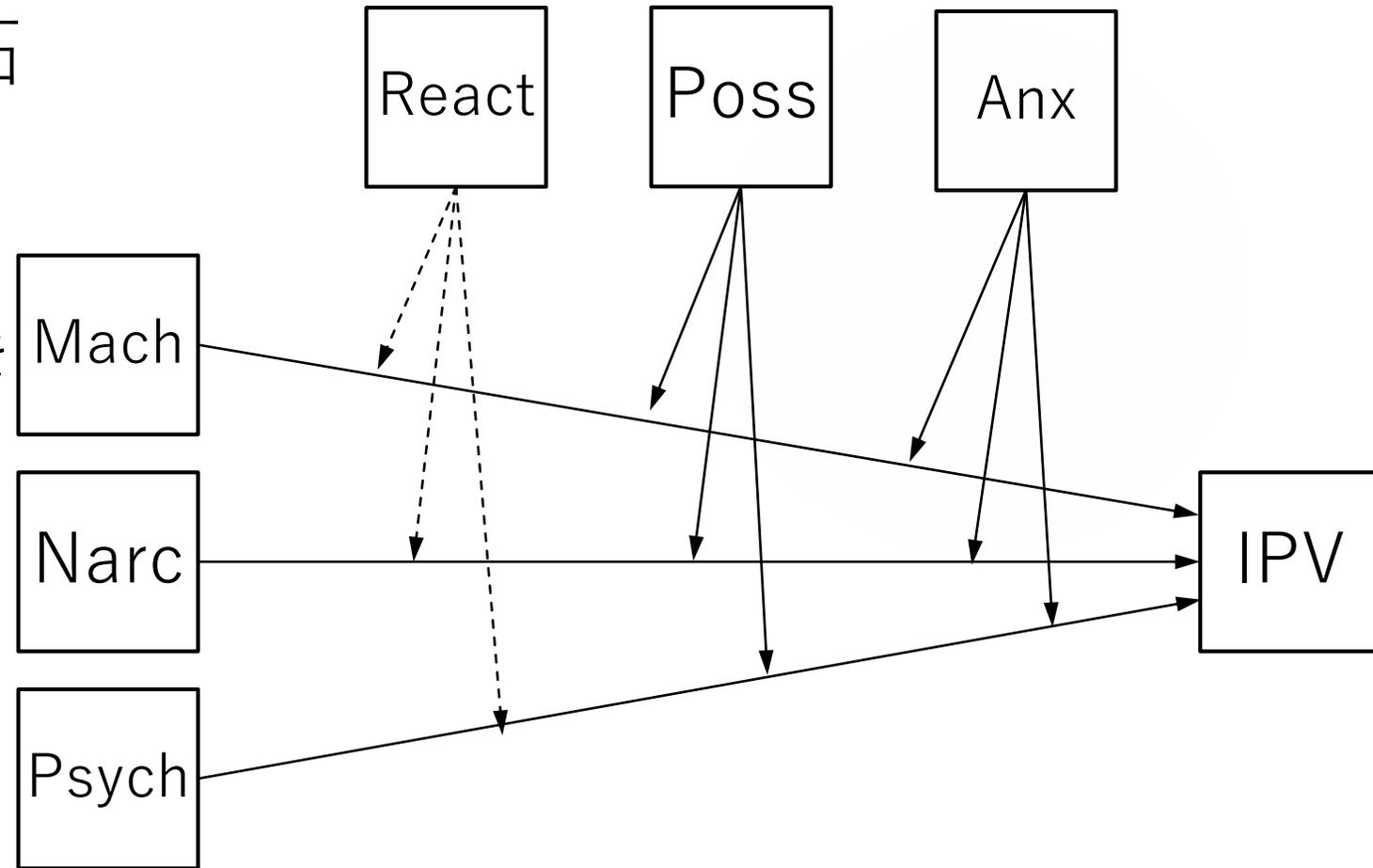


- 内在化/外在化問題につながる

- → ネガティブな方略 (→ IPV) につながると考えられる。

仮説の整理

- 独占性嫉妬と不安性嫉妬がDark TriadとIPVとの関連を調整する。
 - 各嫉妬傾向が高いときにDark TriadとIPVの正の関連が示される。



※調整変数から目的変数へのパスは煩雑になるため省略

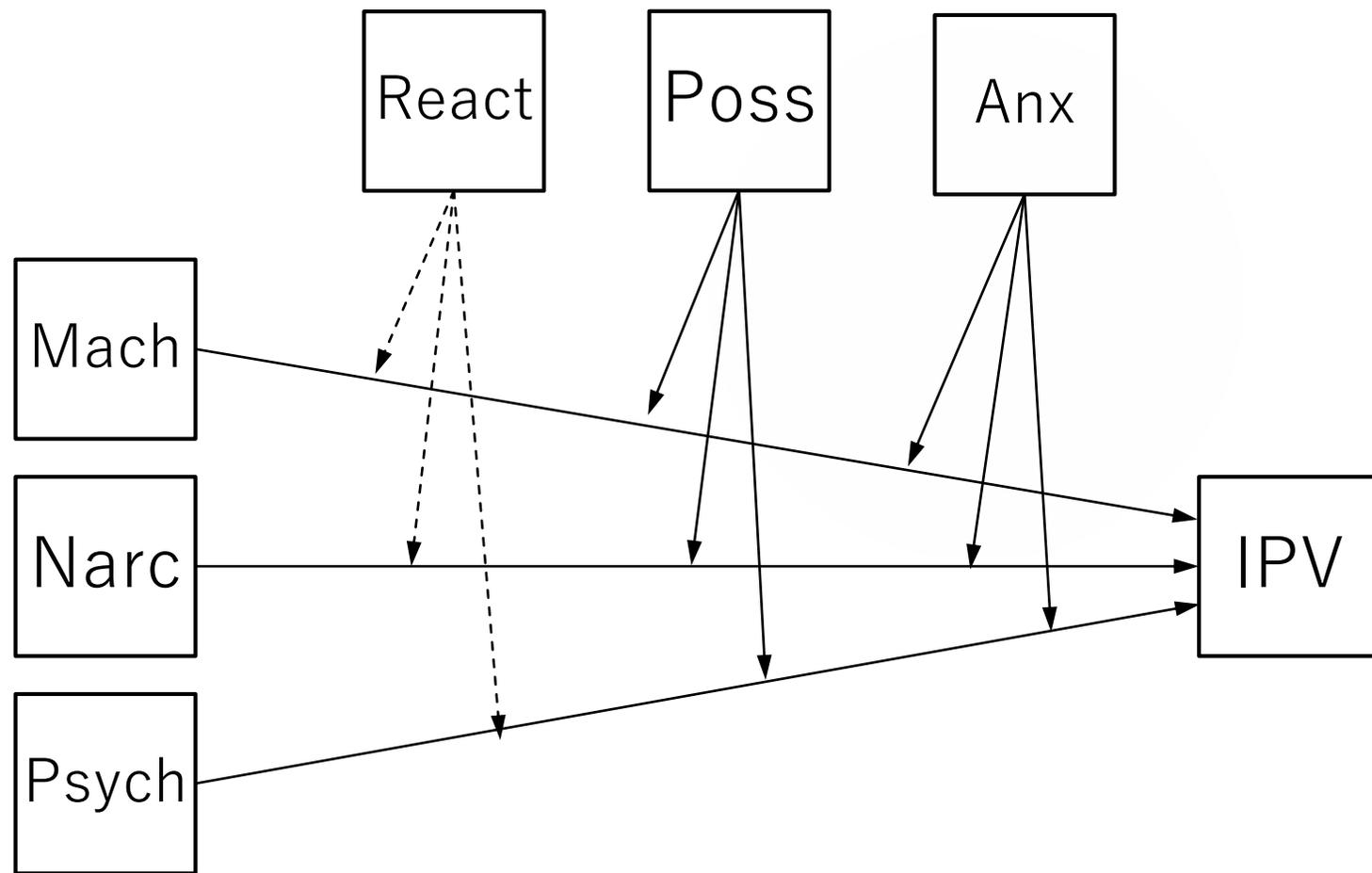
仮説の整理

- 探索的に，性別による調整効果の検証

- 嫉妬の表出ポイントが性別によって異なることが示唆されているため^{14, 15}

- 男性は身体的な浮気により敏感

- 女性は情動的な浮気により敏感



※調整変数から目的変数へのパスは煩雑になるため省略

方法：参加者と尺度

- ウェブリサーチモニター1000名が参加
 - 男女500名ずつ ($M_{age} = 45.4, SD = 7.92$)
- 嫉妬尺度日本語版¹⁶
 - 15項目，各5項目，5件法
 - もし、あなたのパートナーが他の異性と性的な関係を持っていたら、あなたはどれくらい動揺しますか（反応性嫉妬[Reactive]
 - 私は、自分のパートナーにはあまり多くの異性と関わってほしくない（独占性嫉妬[Possessive]
 - 私は、自分のパートナーが私より魅力的な人を見つけるのではないかと不安に感じる（不安性嫉妬[Anxious]

方法：尺度（続き）

- Short Dark Triad (SD3) 日本語版¹⁷
 - 27項目，各9項目，5件法
 - 他の誰かに自分の秘密を教えないということは賢明なことだ（マキャベリアニズム[Mach]
 - 周りの人は私を生まれながらのリーダーだと思っている（ナルシズム[Narc]
 - 私は目上の人に仕返しや報復をしたいと思うことがある（サイコパシー[Psych]
- IPV尺度³
 - 21項目，5件法
 - 相手の身体を平手で打ったことがある。

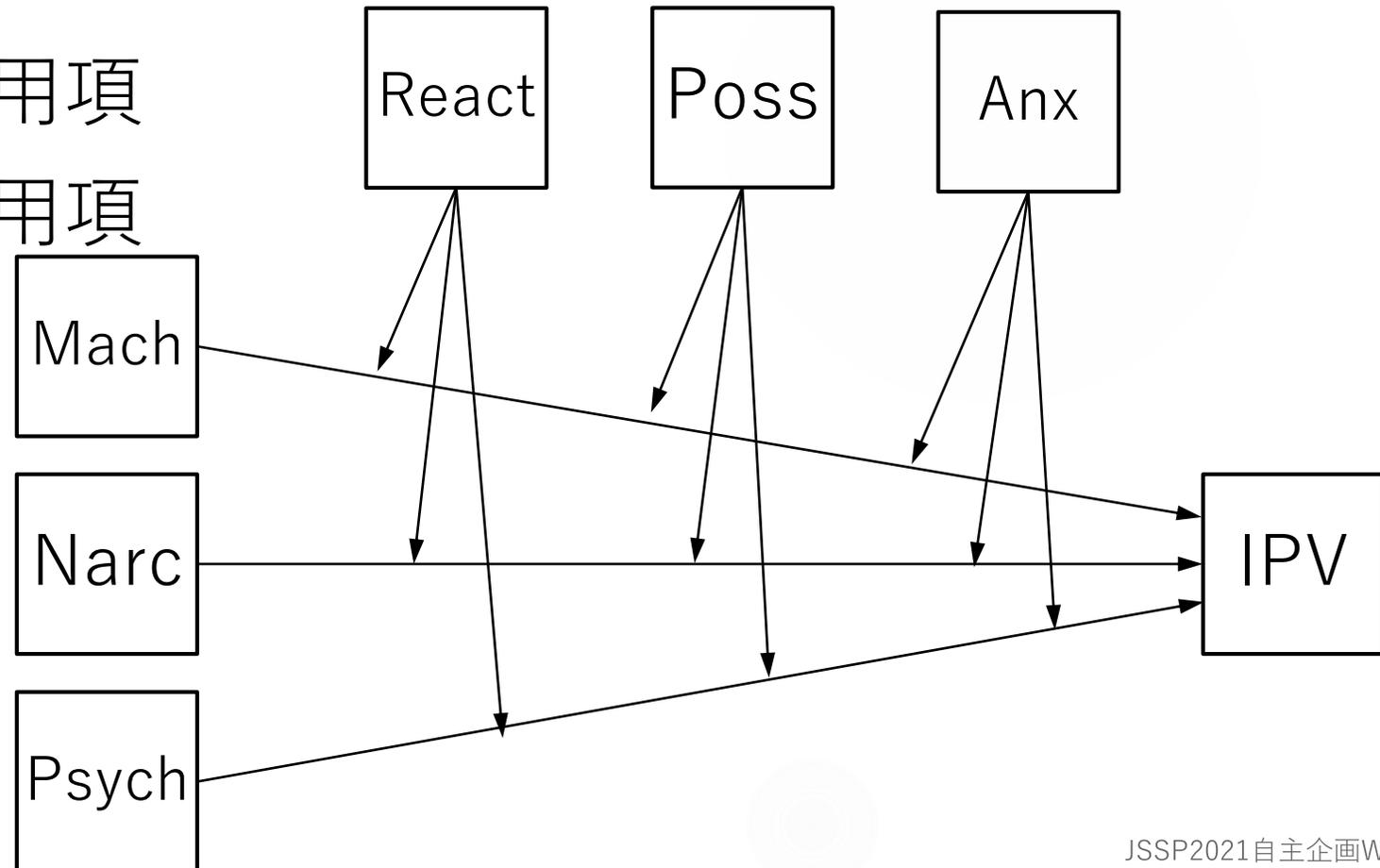
方法：手続き

- オンラインで実施
- インフォームドコンセント
- 尺度への回答
 - 本研究で使用しない尺度も含む
- デモグラフィックデータ
 - 年齢，性別に加え，身体的特徴など含む

方法：統計解析

■ 階層的重回帰分析

- Step 1: Dark TriadとIPV
- Step 2: 一次の交互作用項
- Step 3: 二次の交互作用項
 - 性別との交互作用項



結果

- 二次の交互作用効果(Step3)は ns

→ 一次の交互作用について

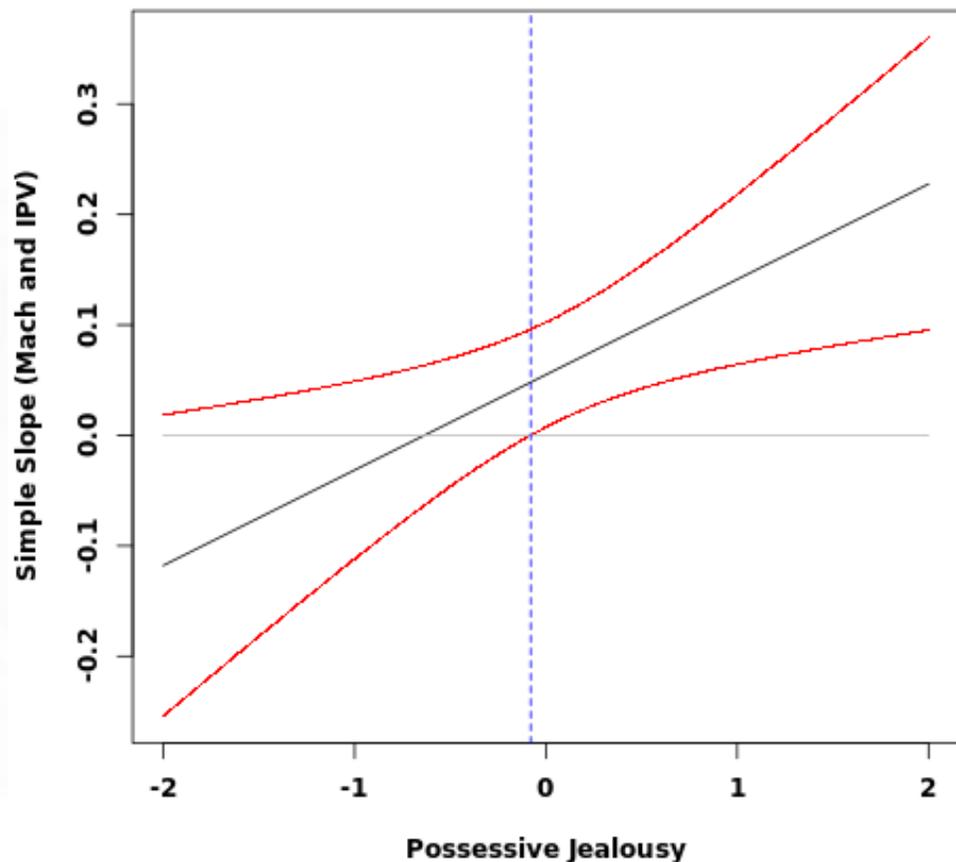
報告

	Step 3b
M × Re × Gen	-0.11
N × Re × Gen	0.09
Ps × Re × Gen	0.10
M × Poss × Gen	-0.08
N × Poss × Gen	-0.01
Ps × Poss × Gen	-0.09
M × Anx × Gen	0.05
N × Anx × Gen	0.06
Ps × Anx × Gen	-0.09
R ²	.20
ΔR ²	.01
ΔF	1.88

	Step1b	Step2b
intercept	1.56 ^{**}	1.55 ^{**}
Mach	0.05 [*]	0.05 [*]
Narc	0.03	0.03
Psych	0.22 ^{**}	0.22 ^{**}
React	-0.02	-0.02
Possess	0.02	0.02
Anxious	0.04 [*]	0.05 ^{**}
Gender _{1=m, 2=f}	0.13 ^{**}	0.13 ^{**}
M × Re		-0.02
N × Re		-0.03
Ps × Re		-0.02
M × Poss		0.09 ^{**}
N × Poss		-0.03
Ps × Poss		0.02
M × Anx		-0.06 [*]
N × Anx		0.03
Ps × Anx		0.06
M × Gen		0.08
N × Gen		-0.12 [*]
Ps × Gen		0.01
Re × Gen		0.03
Poss × Gen		0.03
Anx × Gen		-0.07 [*]
R ²	.15	.19
ΔR ²		.03
ΔF	25.78 ^{**}	2.48 [*]

結果

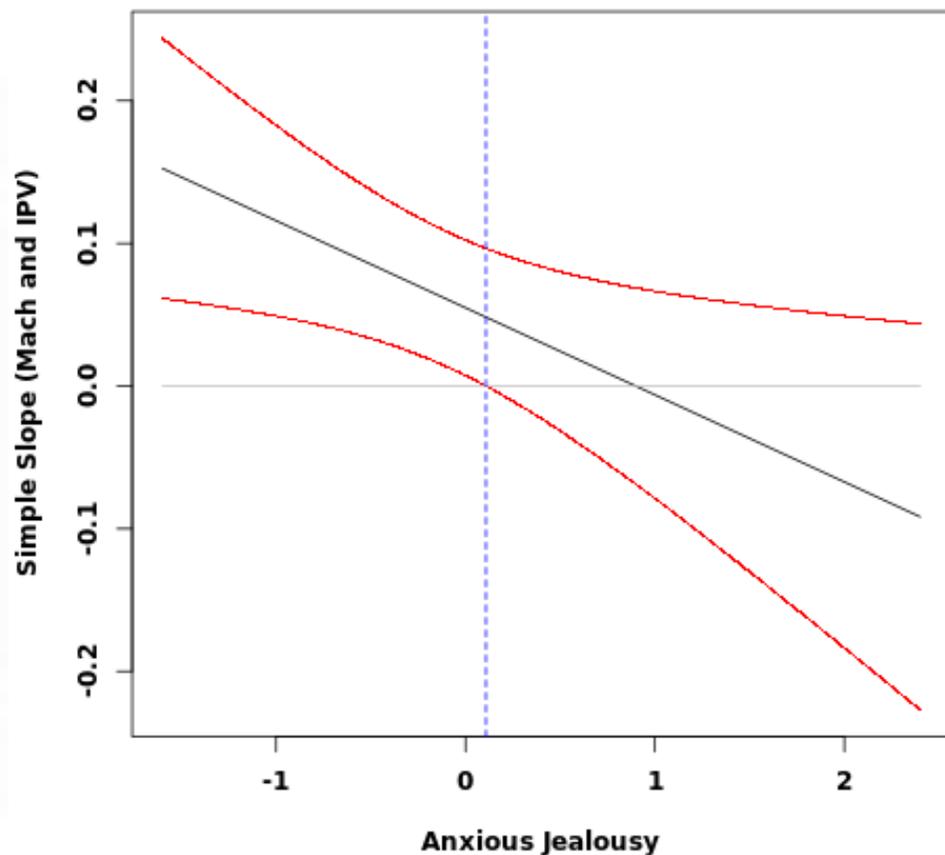
- 所有性嫉妬が高くなるほど、マキャベリアニズムとIPVとの関連が強まる。



	Step1b	Step2b
intercept	1.56**	1.55**
Mach	0.05*	0.05*
Narc	0.03	0.03
Psych	0.22**	0.22**
React	-0.02	-0.02
Possess	0.02	0.02
Anxious	0.04*	0.05**
Gender	0.13**	0.13**
M × Re		-0.02
N × Re		-0.03
Ps × Re		-0.02
M × Poss		0.09**
N × Poss		-0.03
Ps × Poss		0.02
M × Anx		-0.06*
N × Anx		0.03
Ps × Anx		0.06
M × Gen		0.08
N × Gen		-0.12*
Ps × Gen		0.01
Re × Gen		0.03
Poss × Gen		0.03
Anx × Gen		-0.07*
R ²	.15	.19
Δ R ²		.03
Δ F	25.78**	2.48*

結果

- 不安性嫉妬が低くなるほど、マキャベリアニズムとIPVとの関連が強まる。



	Step1b	Step2b
intercept	1.56**	1.55**
Mach	0.05*	0.05*
Narc	0.03	0.03
Psych	0.22**	0.22**
React	-0.02	-0.02
Possess	0.02	0.02
Anxious	0.04*	0.05**
Gender	0.13**	0.13**
M × Re		-0.02
N × Re		-0.03
Ps × Re		-0.02
M × Poss		0.09**
N × Poss		-0.03
Ps × Poss		0.02
M × Anx		-0.06*
N × Anx		0.03
Ps × Anx		0.06
M × Gen		0.08
N × Gen		-0.12*
Ps × Gen		0.01
Re × Gen		0.03
Poss × Gen		0.03
Anx × Gen		-0.07*
R ²	.15	.19
Δ R ²		.03
Δ F	25.78**	2.48*

考察：知見のまとめ

- 仮説通り，独占性嫉妬がMachとIPVの関連を調整した。
 - 独占性嫉妬が高いほどMachとIPVの正の関連が強い
 - ※ Psychはどんな場合でもIPVと正の関連
 - ※ NarcはIPVと関連しない
 - が，男性の場合，Narcが高いほどIPVをする。
- 不安性嫉妬との交互作用は想定と異なる
 - 不安性嫉妬が低いほどMachとIPVの正の関連が強い
 - なぜ？独占性嫉妬とのアウトカムの違い？→新たなQ

考察：新たなQと今後の展開

- Q1. Dark Triadは嫉妬やIPVと異なる関連を示す。
 - → 整理して性差する必要がある。
 - 共通要素を抽出して「核」との関連の検証
 - 独自の関連の理論的背景の整理

考察：新たなQと今後の展開

- Q2. 不安性嫉妬と独占性嫉妬のアウトカムの違いは？
 - それぞれ異なる調整効果を示した。
 - 不安性嫉妬は内在化問題，独占性嫉妬は外在化問題との関連が示されるかもしれない。
 - 不安性嫉妬が低いほどMachとIPVの関連が強い，はなぞ
 - MachはデフォルトでIPV \Leftrightarrow 不安性嫉妬が高いと低MachでもIPV，という構図？
 - \Leftrightarrow 外在化/内在化問題は相関するし，不安性嫉妬による内在化問題のみが出現したとしても（現状）解釈できない。
- \rightarrow 理論的背景を考慮しながら今後の研究が必要

考察：新たなQと今後の展開

- Q3. Dark Triadと嫉妬の交互作用効果に対する性別の調整効果は示されなかった。
 - 嫉妬生起のポイントが違っても，そのアウトカムは同じ？
 - 一方で，独占性，不安性嫉妬は男性の方が高い
 - 男性では，不安性嫉妬が低いとIPVが低い，女性では不安性嫉妬の高低にかかわらず相対的にIPVが高い。
 - 不安性嫉妬×性別
 - IPVの性差は有意ではない。
- → 今後の研究が必要

考察：リミテイション

- 今回「嫉妬の覚えやすさの個人差」を扱った
 - → あくまで特性として捉えられるもの
 - ⇔ 実際に嫉妬が生起したときにIPVのトリガーとして働くかを検証する必要がある。
- 自己報告によるデータだった
 - → 実際に観察される行動を測定する必要がある
 - シミュレーションゲームの応用など？

まとめ

- サイコパシーは一般的にIPVと正の関連
- ナルシシズムは一般的にIPVと関連しない
- マキャベリアニズムとIPVの関連は嫉妬に調整される。
 - 独占的嫉妬が高い場合， マキャベリが高いほどIPV
 - 不安性嫉妬が低い場合， マキャベリが高いほどIPV
- ご意見がございましたら， 喜入暁（きいれさとる）までご連絡いただくと幸いです。
 - s.kiire0518@gmail.com

補足X：記述統計

Table X. 記述統計量と性差

	Male		Female		t	d
	M	(SD)	M	(SD)		
IPV	1.54	(0.46)	1.58	(0.39)	-1.71	-0.11
Mach	3.09	(0.59)	3.01	(0.59)	2.19*	0.14
Narc	2.33	(0.57)	2.09	(0.60)	6.44***	0.41
Psych	2.42	(0.55)	2.13	(0.50)	8.80***	0.56
React	4.33	(0.72)	4.34	(0.71)	-0.24	-0.02
Possess	2.98	(0.92)	2.80	(0.89)	3.27**	0.21
Anxious	2.66	(0.98)	2.51	(1.00)	2.42*	0.15

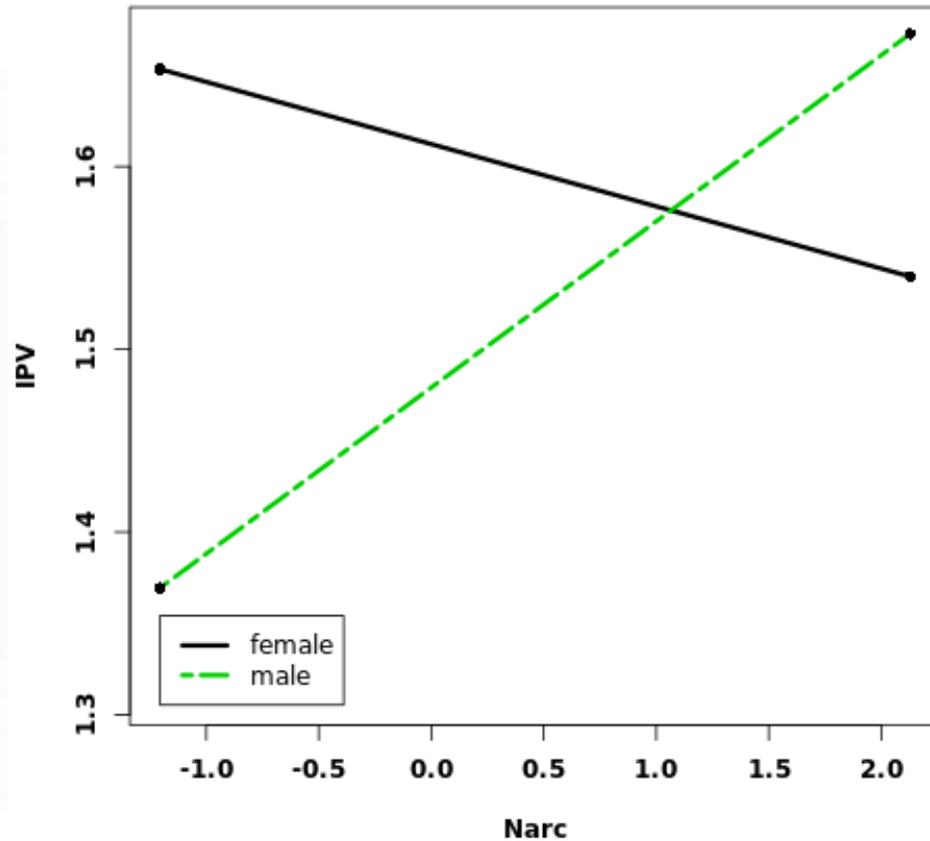
補足X：相関

Table X. 相関係数

	IPV	Mach	Narc	Psych	React	Possess	Anxious
Mach	.23**						
Narc	.19**	.25**					
Psych	.34**	.46**	.52**				
React	.00	.03	-.07*	-.08*			
Possess	.15**	.16**	.14**	.22**	.47**		
Anxious	.18**	.22**	.03	.24**	.31**	.54**	
Gender (1=M, 2=F)	.05	-.07*	-.20**	-.27**	.01	-.10**	-.08*

補足X：結果

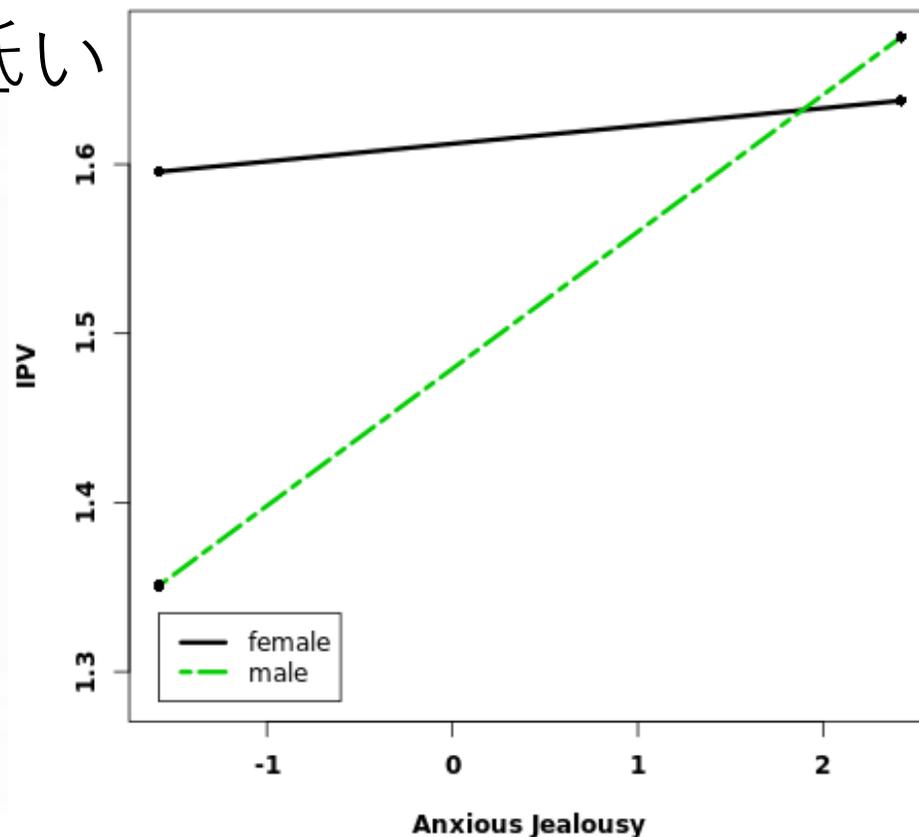
- 男性の場合に，ナルシシズムが高いほどIPVが高い



	Step1b	Step2b
intercept	1.56**	1.55**
Mach	0.05*	0.05*
Narc	0.03	0.03
Psych	0.22**	0.22**
React	-0.02	-0.02
Possess	0.02	0.02
Anxious	0.04*	0.05**
Gender	0.13**	0.13**
M × Re		-0.02
N × Re		-0.03
Ps × Re		-0.02
M × Poss		0.09**
N × Poss		-0.03
Ps × Poss		0.02
M × Anx		-0.06*
N × Anx		0.03
Ps × Anx		0.06
M × Gen		0.08
N × Gen		-0.12*
Ps × Gen		0.01
Re × Gen		0.03
Poss × Gen		0.03
Anx × Gen		-0.07*
R ²	.15	.19
Δ R ²		.03
Δ F	25.78**	2.48*

補足X：結果

- 男性の場合に，不安性嫉妬が高いほどIPVが高い
 - ※不安性嫉妬が低いほどIPVが低い



	Step1b	Step2b
intercept	1.56**	1.55**
Mach	0.05*	0.05*
Narc	0.03	0.03
Psych	0.22**	0.22**
React	-0.02	-0.02
Possess	0.02	0.02
Anxious	0.04*	0.05**
Gender	0.13**	0.13**
M × Re		-0.02
N × Re		-0.03
Ps × Re		-0.02
M × Poss		0.09**
N × Poss		-0.03
Ps × Poss		0.02
M × Anx		-0.06*
N × Anx		0.03
Ps × Anx		0.06
M × Gen		0.08
N × Gen		-0.12*
Ps × Gen		0.01
Re × Gen		0.03
Poss × Gen		0.03
Anx × Gen		-0.07*
R ²	.15	.19
Δ R ²		.03
Δ F	25.78**	2.48*

引用文献

- 1Vagi, K. J., Rothman, E. F., Latzman, N. E., Tharp, A. T., Hall, D. M., & Breiding, M. J. (2013). Beyond correlates: A review of risk and protective factors for adolescent dating violence perpetration. *Journal of Youth and Adolescence*, *42*, 633-649.
- 2Carton, H., & Egan, V. (2017). The dark triad and intimate partner violence. *Personality and individual differences*, *105*, 84-88.
- 3Kiire, S. (2017). Psychopathy rather than Machiavellianism or narcissism facilitates intimate partner violence via fast life strategy. *Personality and Individual Differences*, *104*, 401-406.
- 4Kiire, S. (2019). A "fast" life history strategy affects intimate partner violence through the Dark Triad and mate retention behavior. *Personality and Individual Differences*, *140*, 46-51.
- 5Wilkinson, D. L., & Hamerschlag, S. J. (2005). Situational determinants in intimate partner violence. *Aggression and Violent Behavior*, *10*, 333-361.
- 6Buss, D. M. (1988). From vigilance to violence: Tactics of mate retention in American undergraduates. *Ethology and Sociobiology*, *9*, 291-317.
- 7Miner, E. J., Starratt, V. G., & Shackelford, T. K. (2009). It's not all about her: Men's mate value and mate retention. *Personality and Individual Differences*, *47*, 214-218.
- 8Buss, D. M., & Duntley, J. D. (2011). The evolution of intimate partner violence. *Aggression and Violent Behavior*, *16*, 411-419.
- 9Attridge, M. (2013). Jealousy and relationship closeness: Exploring the good (reactive) and bad (suspicious) sides of romantic jealousy. *SAGE open*, *3*, 2158244013476054.
- 10Buunk, B. P. (1997). Personality, birth order and attachment styles as related to various types of jealousy. *Personality and Individual Differences*, *23*, 997-1006.

引用文献

- ¹¹Barelds, D. P., Dijkstra, P., Groothof, H. A., & Pastoor, C. D. (2017). The Dark Triad and three types of jealousy: Its' relations among heterosexuals and homosexuals involved in a romantic relationship. *Personality and Individual Differences, 116*, 6-10.
- ¹²喜入暁 (2018). Dark Triadと嫉妬がパートナー暴力に及ぼす影響 自主シンポジウム「個人内過程および対人関係におけるDark Triadの諸相」日本パーソナリティ心理学会第27回大会
- ¹³Massar, K., Winters, C. L., Lenz, S., & Jonason, P. K. (2017). Green-eyed snakes: The associations between psychopathy, jealousy, and jealousy induction. *Personality and Individual Differences, 115*, 164-168.
- ¹⁴Buss, D. M., Larsen, R. J., Westen, D., & Semmelroth, J. (1992). Sex differences in jealousy: Evolution, physiology, and psychology. *Psychological Science, 3*, 251-255.
- ¹⁵Buss, D. M. (2018). Sexual and emotional infidelity: Evolved gender differences in jealousy prove robust and replicable. *Perspectives on Psychological Science, 13*, 155-160.
- ¹⁶Kiire, S., & Kawamoto, T. (in preparation). Dark Triad, jealousy, and intimate partner violence.
- ¹⁷下司 忠大・小塩 真司 (2017). 日本語版 Short Dark Triad (SD3-J) の作成 パーソナリティ研究, *26*, 12-22.
- ¹⁸Rauthmann, J. F. (2012). The Dark Triad and interpersonal perception: Similarities and differences in the social consequences of narcissism, Machiavellianism, and psychopathy. *Social Psychological and Personality Science, 3*, 487-496.
- ¹⁹Buunk, A. P., & Massar, K. (2019). Intimate partner violence in Nicaragua: the role of possessive jealousy, intrasexual competitiveness, life history, mate value, and stress. *Journal of interpersonal violence, 0886260519842854*.